

令和元年5月10日

医療政策課 感染症・がん対策班  
担当：山口、橋口  
電話：095-895-2466 内線：2466

## 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）患者の発生について ～ マダニ類が媒介する感染症に注意しましょう ～

県内で今年度、初めて「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」の発生届がありました。本疾患は、ヒトがSFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることで起こる感染症です。

また、マダニ類は本疾患のほか日本紅斑熱の病原体も媒介することから、特に注意が必要です。

マダニ類は山林、草地などに生息していますが、夏場を迎えてレジャーや農作業など屋外で活動する機会が増えることから、感染予防の啓発にご協力をお願いいたします。

### 1. 概要

- 1) 発 生 地：五島保健所管内（五島市）
- 2) 患 者：男性（年代は、ご本人の希望により公表を差し控えます）
- 3) 発 病 年 月 日：平成31年4月20日  
初 診 年 月 日：令和元年5月4日  
診 断 年 月 日：令和元年5月9日
- 4) 診 断 方 法：SFTSウイルス遺伝子の検出
- 5) ダニの刺し口：不明
- 6) 症 状 等：発熱、頭痛、神経症状、食欲不振、全身倦怠感、  
血小板減少、白血球減少
- 7) その他の状況：現在、入院管理中  
〔 入院期間につきましては、人権尊重及び個人情報保護の観点から、  
公表を差し控えます。 〕

この情報提供は、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する正しい知識の普及と注意喚起を目的とした広報活動です。

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第3条及び第4条において求められているように、患者等の人権尊重には御配慮と御理解をいただきますようお願いいたします。

## **重症熱性血小板減少症候群（SFTS）とは**

SFTSウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染して起こる病気です。潜伏期間は6日から2週間で、主な症状は発熱、消化器症状で重症化して死亡することもあります。ワクチンや有効な抗ウイルス薬はなく、治療としては対症療法が主体になります。

近年、SFTSを発症したネコ及びイヌの症例が確認されており、これらの動物の血液や糞便からSFTSウイルスが検出されています。SFTS以外の感染症に対する予防の観点からも、動物を飼育している場合は過剰な触れ合いを控え、動物由来の感染にも注意してください。

## **2. 感染予防策等**

- マダニに咬まれないようにすることが重要です。  
農作業や庭仕事、レジャー等、屋外で活動する際には、
  - ① 長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴などを着用して肌の露出を少なくしましょう。
  - ② 作業後は身体や服をはたき、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
  - ③ 帰宅後したら、入浴しましょう。
- 吸着しているマダニを見つけた場合は無理に引き抜かず、できるだけ医療機関（皮ふ科等）で処置してもらいましょう。
- マダニに咬まれた後（数日から2週間程度）に発熱等の症状があった場合は、医療機関を受診し、マダニに咬まれたことを伝えましょう。
- ネコなどの動物や野生動物からSFTSウイルスに感染しないようにするためには、
  - ・動物を飼育している場合、過剰な触れ合い（口移しでエサを与えたり、動物を布団に入れて寝ることなど）は控えてください。
  - ・動物に触ったら必ず手洗い等をしましょう。また、動物のマダニは適切に駆除しましょう。
  - ・飼育している動物の健康状態の変化に注意し、体調不良の際には動物病院を受診してください。
  - ・野生動物は、どのような病原体を保有しているか分かりません。野生動物との接触は避けてください。
  - ・体に不調を感じたら、早めに医療機関を受診してください。受診する際は、ペットの飼育状況やペットの健康状態、また動物との接触状況についても医師に伝えてください。

### **（感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律）【抜粋】**

第三条 国及び地方公共団体は、教育活動、広報活動等を通じた感染症に関する正しい知識の普及、感染症に関する情報の収集、整理、分析及び提供、感染症に関する研究の推進、病原体等の検査能力の向上並びに感染症の予防に係る人材の養成及び資質の向上を図るとともに、社会福祉等の関連施策との有機的な連携に配慮しつつ感染症の患者が良質かつ適切な医療を受けられるように必要な措置を講ずるよう努めなければならない。この場合において、国及び地方公共団体は、感染症の患者等の人権を尊重しなければならない。

第四条 国民は、感染症に関する正しい知識を持ち、その予防に必要な注意を払うよう努めるとともに、感染症の患者等の人権が損なわれることがないようにしなければならない。

## 参考資料

### ●マダニ類媒介性感染症の県内発生状況

年	2014		2015		2016		2017		2018		2019※	
	全国	長崎	全国	長崎	全国	長崎	全国	長崎	全国	長崎	全国	長崎
SFTS	61	2	60	2	60	2	90	11	77	4	13	2
日本紅斑熱	241	14	215	13	277	8	337	20	303	19	13	1

※2019年の発生件数は、2019年第17週(1月から4月28日まで)の感染症発生動向調査週報(IDWR)の速報データです。(今回の発生届は含まない)

※日本紅斑熱：日本紅斑熱リケッチアを保有するマダニに咬まれることで感染して起こる病気です。潜伏期間は2日から8日で、主な症状は高熱や発疹です。有効な抗菌薬があり、治療に用いられます。

#### 【参考】

厚生労働省 ダニ媒介感染症

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

厚生労働省 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)に関するQ&A

[https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/sfts_qa.html)

厚生労働省 日本紅斑熱

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou11/01-04-23.html>

長崎県ホームページ ダニ媒介感染症の予防

<http://www.pref.nagasaki.jp/object/kenkaranooshirase/oshirase/299534.html>

長崎県リーフレット ダニからうつる病気の予防

<http://www.pref.nagasaki.jp/shared/uploads/2013/06/1372319143.pdf>